

平成30年度（上期） 指定管理施設管理運営状況報告書

施設担当課： 健康福祉 部 地域福祉 室 地域・高齢福祉 課

1. 基本情報

702

施設名	伊丹市立神津福祉センター		
施設の設置目的	高齢者をはじめとする市民の文化、教養並びに福祉の向上を図る。		
伊丹市総合計画（第5次）における関連施策	政策目標： 支え合いの心でつくる安全・安心のまち 施策目標： 支え合いを基調とした地域福祉 主要施策： 元気、生きがい、安心の高齢者福祉		
指定管理者の名称	社会福祉法人 協同の苑 （団体の住所又は所在地） 神戸市東灘区向洋町中3丁目1番地2		
選定方法（公募・非公募）及び指定期間	非公募	平成 26 年 4 月 1 日 ～ 平成 31 年 3 月 31 日	
管理運営上の目標 （管理運営の指定管理者の具体的目標）	指標名	来館者数 （単位： 人 ）	
	指標の意味	年間の施設来館者数	
	今年度の目標値	96,200	上期の実績値 42,859

2. 利用状況

利用状況等の推移		H17※	H26	H27	H28	H29	H30（上期）	H30（通期）
	来館者数（人）		84,843	93,526	94,065	93,151	89,362	42,859
貸し室稼働率（%）		38	48	53	54	52	52	
講座開催回数（回）		61	973	953	1,032	1,032	509	
講座参加者数（人）		2,330	12,740	11,205	11,762	11,514	5,159	

※H17年度は、指定管理者制度未導入。

3. 経費情報

		区分	平成28年度（2016）	平成29年度（2017）	平成30年度（2018）計画	平成30年度（2018）実績（上期）
収入	使用料収入		0	0	0	0
	事業収入		7,426	7,146	9,400	5,002
	その他		456	302	0	84
	指定管理委託料		29,271	29,290	27,970	13,980
	①合計		37,153	36,738	37,370	19,066
支出	維持管理	光熱水費	5,235	5,371	5,483	2,577
		清掃等委託料	2,349	2,211	2,553	1,204
		土地建物賃料	0	0	0	0
		修繕料	870	580	426	347
	運営	人件費	17,271	17,763	17,763	8,445
		事業等経費	10,084	10,145	9,881	4,855
		その他	1,341	1,408	1,264	860
	指定管理納付金	0	0	0	0	
	②合計	37,150	37,478	37,370	18,288	
純収支（①－②）			3	△ 740	0	778

施設の管理運営に係る実質経費（市の負担）※ <単位:千円>		H25	H26	H27	H28	H29	H30（上期）
	市の収入		162	132	156	188	157
（内、使用料収入）		162	132	156	188	157	74
市の支出		30,052	29,628	30,894	31,099	36,362	14,614
（内、指定管理委託料）		28,150	28,570	29,251	29,271	29,290	13,980
実質経費（歳出－歳入）		29,890	29,496	30,738	30,911	36,205	14,540

※施設建設等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

4. 業務評価

評価項目	(具体的内容)	評価結果				
		指定管理者自己評価		施設担当課評価		
		評価	特記事項	評価	担当課所見	
管理体制等に関する事項	維持管理業務の実施状況	館内の清掃を定期的実施し、常に清潔に保たれているか。	B	修繕・保守を、担当部署と協議し適切に実施した。備品台帳は独自に整備したものを継続中。手をつなぐ育成会との連携により清掃を実施。節電も行い、施設設備の環境保全に努めた。	B	備品の整備について明確に整備しており、担当課からの質問についても迅速に報告があった。
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	B			
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	A			
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	B			
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	B			
	職員配置などの実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	B	常勤専任のセンター長を置いている。質を保った対応に必要なソフト組を行い、日中4名前後、夜間2名の職員体制を維持した。	B	基準値の職員配置が行われていた。
		職員研修は、計画どおり実施しているか。	B			
		防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	B			
	防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	A	避難訓練を実施。法人全体でANPICを導入、訓練を継続中、災害対応で夜間地域の避難者を受け入れた	A	指定管理者で独自の緊急連絡網を整備し、緊急時に迅速に対応できるよう努めた。
避難訓練を実施しているか。		A				
運営等に関する項目	サービス向上への取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	B	苦情窓口と解決責任者を配置。講座、行事のタイミングに合わせた広報活動を行った。配慮が必要な利用者も断らず対応を工夫して受け入れた。	B	講座やイベントについては積極的に広報活動に努めた。また、利用者のトラブルについては、適切な対応を行った。
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。	B			
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	B			
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	A			
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	B	年度計画に添って実施。主催事業、伊丹聞き書きプロジェクトに協力し、津津小学校とも連携した。	B	多世代交流を図った事業を催し、魅力ある事業展開を行った。
		施設の設置目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	B			
	個人情報保護・情報公開への取り組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	B	個人情報のデータは法人共有ファイルに保管。一括管理しセキュリティは専門業者に依頼。USBは全部の持ち出しを禁止している。	B	適切に管理・遵守が行われた。
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	A			
		ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	B			
	収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	B	年間収支計画により適正に運営している。講座生増加にさらなる努力が必要。	B	収支計画に基づき、適正な運営が行われた。
経理処理は、適切に行っているか。		B				

「評価」欄の記号の意味

「A」＝協定書・仕様書等の水準を上回っている。
「C」＝協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。

「B」＝協定書・仕様書等の水準を満たしている。
「-」＝当該項目での評価対象外。

施設所管課総評	事業計画に基づき適切な施設運営が行われた。
総合評価	施設内の同好会でのトラブルについては、迅速に対応し問題解決に努めた。
B	

「総合評価」欄の記号の意味

「AA」＝非常に良好である又は非常に成果があった。
「B」＝取組状況の水準が普通である。

「A」＝良好である又は成果があった。
「C」＝改善すべき点が見受けられ、改善を要する。

☆利用者満足度調査(アンケート)結果と対応【実施期間】平成30年 8月 1日～平成30年 8月 31日

実施の有無	主な回答	主な対応
有り	①駐車場が不足しているという回答が複数	①アンケートのご本人には直接返せていないが、駐められないという訴えがある度に、誘導と声かけをしている
回答者数	②講座についての要望、希望が上がっている	②職員間で共有、会議内で議論し、具体的な提案につなげていく
137	③設備面の意見、要望が複数あり	③妥当性、現実的に対応可能なものを判断して振り分け、予算を鑑みながら検討

5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置
月間の事業報告に際には、その月までの累計を報告するように指示があった。	指示に従い書式を改善した。
施設の設備修繕について、適切に予測をし、計画性を持って予算申請を行うように。	老朽化に伴い大型修繕に向けての見込みと合わせて予算申請を行った。